

建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675



リフォームであなたらしい暮らしを

定期的な点検

日常的な点検を行うことは、住まいを安全・快適・健康に保つことにつながり
それにより住まいの寿命や資産価値が大きく変わってきます。

また、住宅を長く使い続けるためには、定期的な点検を行い、住まいの状態を
きちんと把握し、適切な処置(修繕・リフォーム)を心がけることが重要。

1年ごとの点検(住み手が主体)

- 部位 ・屋外(外壁・屋根・ベランダ)
・屋内(床・壁・天井)
・建具
・設備(給排水・電気・ガス)
・その他(異音・カビ・音・害虫)

目的 建物の傷みややすい部分の点検

床材や壁材の傷や反り、建具・金具の不良、雨漏りの形跡など日常の
中で異変がないかをチェック

処置 簡単な処置は、自分で行う。ただし、設備の異変や雨漏りは自分で判
断・工事せず、早めに施工会社に依頼

5年ごとの中期点検(専門家・業者の協力)

- 部位 ・屋外(外壁・屋根・雨どい・軒裏・塗装)
・屋内(床・壁・天井)
・建具
・設備(給排水・電気・ガス)

目的 見えないところの異常の発見が目的
内外装や基本設備などを点検

処置 見えないところの異常の発見や処置は、素人には難しいので、専門や
専門業者に依頼

10年ごとの総合点検(専門家・業者の協力)

- 部位 ・屋外(基礎・土台)
・屋内(床組・柱・壁・天井・小屋組)
・その他(防水など)

目的 建物の本体の維持が目的
建物の構造的な部分の計測、点検

処置 床の沈下や傾斜、壁・天井のたわみなどの計測は、信頼のおける専門
家に依頼

・1月の行事報告

理事会は開催しませんでした。

「大阪府からのお願い」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に

向け対応について

1月25日、国において、大阪府がまん延防
止等重点措置を実施すべき区域として公示
されることを踏まえ、大阪府は第67回大阪
府新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、
1月27日から2月20日までのまん延防止
重点措置に基づく要請(府有施設を含む)を
決定した。

<要請内容> (「経済界へのお願い」抜粋)

○区域 大阪府全域

○要請期間

まん延防止等重点措置を実施すべき期間
(令和4年1月27日～2月20日)

○要請内容

- ・在宅勤務(テレワーク)、時差出勤、自転車
通勤等、人との接種を低減する取組みを進
めること
- ・休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外し
た会話を控えること
- ・国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な
業務を行う事業者及びこれらの業務を支援
する事業者は、BCP(事業継続計画)の点
検を行い、必要な業務を継続する
- ・高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化
リスクのある従業者、妊娠をしている従業者、
同居家族に該当者がいる従業者について、
テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと
- ・業種別ガイドラインを鎮守すること

巨大地震に備える

リフォーム工事には+「耐震化工事」を！

近年の地震を振り返ると

阪神淡路大地震から 27 年が経過している！

2000 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震	M7.3
	(兵庫県南部地震と同規模)	
2001 年 3 月 24 日	芸予地震	M6.7
2003 年 7 月 26 日	宮城県北部地震	M6.4
2003 年 9 月 26 日	十勝沖地震(津波被害)	M8.0
2004 年 10 月 23 日	新潟中越地震	M6.8
2005 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震	M7.0
2007 年 3 月 25 日	能登半島地震	M6.9
2007 年 7 月 16 日	新潟県中越沖地震	M6.8
2008 年 5 月 8 日	茨城県沖地震	M7.0
2008 年 6 月 14 日	岩手・宮城内陸地震	M7.2
2008 年 7 月 24 日	岩手県沿岸北部地震	M6.8
2009 年 8 月 11 日	駿河湾地震	M6.5
2011 年 3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)	M9.0
2011 年 3 月 12 日	長野県北部地震	M6.7
2011 年 4 月 11 日	福島県浜通り地震	M7.0
2016 年 4 月 14 日	熊本地震	M6.5
2016 年 4 月 16 日	熊本地震(本震)	M7.3
2018 年 6 月 18 日	大阪北部地震	M6.1
2018 年 9 月 6 日	北海道胆振東部地震	M6.7
2019 年 6 月 18 日	山形県沖地震	M6.7
2021 年 2 月 13 日	福島県沖地震	M7.3

南海トラフ地震とは、駿河湾から遠州灘・熊野灘・紀伊半島の南側海域から土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレートとユーラシアプレートが接する海底の溝を南海トラフといい、ここを震源とする地震を「南海トラフ」といい

「東海地震」「東南海地震」「南海地震」が含まれる。

南海トラフ地震は 100 年～150 年の間隔で繰り返し発生している。

最も新しいのは、1946 年の「昭和南海地震」で今年が 2022 年なので、すでに 76 年が経過している。

「南海トラフ地震」の発生確率は、今後 30 年の間に 30%と予想されている。

被害の想定は

津波被害 高知県 最大 34m

静岡県 最大 33m

大阪でも沿岸部や河口付近で 4mが想定される。

人的被害地震に関連する死者数は

静岡県 109,000 人

愛知・三重・和歌山・徳島・高知・愛媛・大分・宮崎では 10,000~100,000 人未滿と推定される。

このように地震はいつ・どこで起きてても不思議ではない



【編集後記】

今回、建設コープおおさかの HP が新しくリニューアル致しました。

コープらしい HP になっていると思いますので、皆様大いに活用お願い致します。

工事の写真、伝えたいことがありましたら、是非ともお知らせください。掲載いたします。